

(19) 世界知的所有権機関  
国際事務局



(43) 国際公開日  
2004 年 7 月 8 日 (08.07.2004)

PCT

(10) 国際公開番号  
WO 2004/056872 A1

- (51) 国際特許分類<sup>7</sup>: C07K 16/00, C12P 21/08, C07K 1/00, C12N 15/09, A61K 39/395
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2003/016362
- (22) 国際出願日: 2003 年 12 月 19 日 (19.12.2003)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:  
特願 2002-370822  
2002 年 12 月 20 日 (20.12.2002) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 三菱ウェルファーマ株式会社 (MITSUBISHI PHARMA CORPORATION) [JP/JP]; 〒541-0046 大阪府 大阪市 中央区平野町二丁目 6 番 9 号 Osaka (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 佐々木 健次 (SASAKI, Kenji) [JP/JP]; 〒103-8405 東京都 中央区 日本橋本町二丁目 2 番 6 号 三菱ウェルファーマ株式会社 東京オフィス内 Tokyo (JP). 勝村 泰彦 (KATSUMURA, Yasuhiko) [JP/JP]; 〒103-8405 東京都 中央区 日本橋本町二丁目 2 番 6 号 三菱ウェルファーマ株式会社 東京オフィス内 Tokyo (JP).
- (74) 代理人: 高柳 昌生 (TAKAYANAGI, Masau); 〒103-8405 東京都 中央区 日本橋本町二丁目 2 番 6 号 三菱ウェルファーマ株式会社 知的財産部 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI 特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).
- 添付公開書類:  
— 国際調査報告書
- 2 文字コード及び他の略語については、定期発行される各 PCT ガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: METHOD OF PROTECTING THIOL GROUP OF PROTEIN

(54) 発明の名称: タンパク質のチオール基を保護する方法

(57) Abstract: A method of protecting thiol groups of a protein having a free cysteine residue, which comprises adding a compound which has a disulfide bond in the molecule and exerts substantially no influence on the activity of the protein.

(57) 要約: 分子内にジスルフィド結合を有し、かつ、タンパク質の活性に実質的な影響を及ぼさない化合物を添加して、遊離のシステイン残基を有するタンパク質のチオール基を保護する方法。

WO 2004/056872 A1

特 許 協 力 条 約

P C T

国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条)  
[PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 03044W00	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知（様式PCT/ IPEA/416）を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JPO3/16362	国際出願日 (日.月.年) 19.12.2003	優先日 (日.月.年) 20.12.2002
国際特許分類 (IPC) Int. Cl <sup>1</sup> C07K16/00, C12P21/08, C07K1/00, C12N15/09, A61K39/395		
出願人 (氏名又は名称) 三菱ウェルファーマ株式会社		

1. 国際予備審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第57条 (PCT36条) の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。
- ☐ この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。  
(PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照)  
この附属書類は、全部で ページである。

3. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。
- I ☒ 国際予備審査報告の基礎
- II ☐ 優先権
- III ☐ 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- IV ☐ 発明の単一性の欠如
- V ☒ PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- VI ☐ ある種の引用文献
- VII ☐ 国際出願の不備
- VIII ☒ 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 19.12.2003	国際予備審査報告を作成した日 20.05.2004		
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員)  鈴木 美葉子	4N	9839
電話番号 03-3581-1101		内線 3488	

## I. 国際予備審査報告の基礎

1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に  
 応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。  
 PCT規則70.16, 70.17)

☒ 出願時の国際出願書類

- ☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ、 出願時に提出されたもの  
 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ、 \_\_\_\_\_ 付の書簡と共に提出されたもの
- ☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項、 出願時に提出されたもの  
 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項、 PCT19条の規定に基づき補正されたもの  
 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項、 \_\_\_\_\_ 付の書簡と共に提出されたもの
- ☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図、 出願時に提出されたもの  
 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図、 \_\_\_\_\_ 付の書簡と共に提出されたもの
- ☐ 明細書の配列表の部分 第 \_\_\_\_\_ ページ、 出願時に提出されたもの  
 明細書の配列表の部分 第 \_\_\_\_\_ ページ、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
 明細書の配列表の部分 第 \_\_\_\_\_ ページ、 \_\_\_\_\_ 付の書簡と共に提出されたもの

2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願の言語である。

上記の書類は、下記の言語である \_\_\_\_\_ 語である。

- ☐ 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語  
☐ PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語  
☐ 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語

3. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。

- ☐ この国際出願に含まれる書面による配列表  
☐ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表  
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表  
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表  
☐ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった  
☐ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記載した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

4. 補正により、下記の書類が削除された。

- ☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ  
☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項  
☐ 図面 図面の第 \_\_\_\_\_ ページ/図

5. ☐ この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1.における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)

## V. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

## 1. 見解

新規性(N)	請求の範囲	16-21	有
	請求の範囲	1-15	無
進歩性(IS)	請求の範囲		有
	請求の範囲	1-21	無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲	1-21	有
	請求の範囲		無

## 2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

文献1: JP 05-304987 A(三菱化成株式会社)1993.11.19  
 文献2: WO 01/75095 A(武田薬品工業株式会社)2001.10.11  
 文献3: JP 01-231887 A(THOMAE GMBH KARL)1989.09.18  
 文献4: WO 97/47735 A(ROCHE DIAGNOSTICS)1997.12.18  
 文献5: Thomas J. Kunicki, et.al., Biochemistry(1986), Vol. 25, No. 18, p. 4979-4983  
 文献6: Serge Shahinian, et.al., Biochimica et Biophysica Acta(1995), Vol. 1239, No. 2, p. 157-167

## 【請求の範囲1-10】

請求の範囲1-10に係る発明は、文献2-5より新規性を有さない。

文献2-5には、組換えタンパク質をシステインやシスチンの存在下でリホールディングすることにより活性、可溶化タンパク質を得る旨、記載されている。

## 【請求の範囲1-15】

請求の範囲1-15に係る発明は、文献6、7より新規性を有さない。

文献6、7には、システインによってF(ab')<sub>2</sub>を還元して活性な断片を得る旨、記載されている。

## 【請求の範囲16-21】

請求の範囲16-21に係る発明は、文献1-7より進歩性を有さない。

文献1には、GAH抗体について記載されている。

システインによって組換えタンパク質や酵素で切断された抗体等を還元する方法を、文献1に記載される特定抗体であるGAH抗体にも適用することは適宜なし得ることである。

## VIII. 国際出願に対する意見

請求の範囲、明細書及び図面の明瞭性又は請求の範囲の明細書による十分な裏付についての意見を次に示す。

請求の範囲 1-21 に係る発明は、「分子内にジスルフィド結合を有し、かつ、タンパク質の活性に実質的な影響を及ぼさない化合物」を添加して、「遊離のシステイン残基を有するタンパク質」のチオール基を保護する方法に関して記載されているが、上記方法を具体的に実施したのは、「分子内にジスルフィド結合を有し、かつ、タンパク質の活性に実質的な影響を及ぼさない化合物」としてはシスチンとシステイン、「分子内にジスルフィド結合を有し、かつ、タンパク質の活性に実質的な影響を及ぼさない化合物」としてはGAH抗体のみである。

したがって、明細書の上記記載から、上記請求の範囲に係る発明のすべての「分子内にジスルフィド結合を有し、かつ、タンパク質の活性に実質的な影響を及ぼさない化合物」、「遊離のシステイン残基を有するタンパク質」に対して、活性に実質的に影響を与えず、タンパク質のチオール基を保護することについては、明細書による十分な裏付けを欠いている。

# INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP03/16362

## A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl<sup>7</sup> C07K16/00, C12P21/08, C07K1/00, C12N15/09, A61K39/395

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

## B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl<sup>7</sup> C07K16/00, C12P21/08, C07K1/00, C12N15/09, A61K39/395

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)  
JSTplus (STN), BIOSIS/WPI (DIALOG)

## C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
P, X	WO 03/48357 A (Mitsubishi Pharma Corp.), 12 June, 2003 (12.06.03), (Family: none)	1-21
<u>Y</u> A	JP 05-304987 A (Mitsubishi Kasei Corp.), 19 November, 1993 (19.11.93), & EP 520499 B & US 5767246 A & US 5837845 A & US 5990287 A & US 5990297 A & US 6139869 A & JP 3236667 B	<u>16-21</u> 1-10
<u>X</u> Y	WO 01/75095 A (Takeda Chemical Industries, Ltd.), 11 October, 2001 (11.10.01), & EP 1273655 A & JP 2001-342198 A	<u>1-10</u> 11-21

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier document but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family
---	--

Date of the actual completion of the international search  
10 February, 2004 (10.02.04)

Date of mailing of the international search report  
24 February, 2004 (24.02.04)

Name and mailing address of the ISA/  
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP03/16362

## C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
<u>X</u> <u>Y</u>	JP 01-231887 A (THOMAE GMBH. KARL), 18 September, 1989 (18.09.89), & DE 3734632 A & IL 88001 A	<u>1-10</u> <u>11-21</u>
<u>X</u> <u>Y</u>	WO 97/47735 A (ROCHE DIAGNOSTICS), 18 December, 1997 (18.12.97), & EP 904355 A & JP 11-511759 A & US 6342585 B	<u>1-10</u> <u>11-21</u>
<u>X</u> <u>Y</u>	Thomas J. Kunicki et al., Covalent attachment of sulfhydryl-specific, electron spin resonance spin-labels to Fab', fragments of murine monoclonal antibodies that recognize human platelet membrane glycoproteins., Development of membrane protein specific spin probes., Biochemistry(1986), Vol.25, No.18, pages 4979 to 4983	<u>1-15</u> <u>16-21</u>
<u>X</u> <u>Y</u>	Serge Shahinian et al., A novel strategy affords high-yield coupling of antibody Fab', fragments to liposomes., Biochimica. et Biophysica.Acta. (1995), Vol.1239, No.2, pages 157 to 167	<u>1-15</u> <u>16-21</u>

## 特許協力条約に基づく国際出願願書

03044W00

原本（出願用） - 印刷日時 2003年12月18日（18. 12. 2003）木曜日 16時21分21秒

0	受理官庁記入欄	
0-1	国際出願番号	
0-2	国際出願日	
0-3	(受付印)	
0-4	様式-PCT/R0/101 この特許協力条約に基づく国際出願願書は、 右記によって作成された。	PCT-EASY Version 2.92 (updated 01.07.2003)
0-5	申立て 出願人は、この国際出願が特許協力条約に従って処理されることを請求する。	
0-6	出願人によって指定された受理官庁	日本国特許庁 (R0/JP)
0-7	出願人又は代理人の書類記号	03044W00
1	発明の名称	タンパク質のチオール基を保護する方法
11	出願人	出願人である (applicant only)
11-1	この欄に記載した者は	米国を除くすべての指定国 (all designated States except US)
11-2	右の指定国についての出願人である。	
11-4ja	名称	三菱ウェルファーマ株式会社
11-4en	Name	MITSUBISHI PHARMA CORPORATION
11-5ja	あて名:	541-0046 日本国 大阪府 大阪市 中央区平野町二丁目6番9号
11-5en	Address:	6-9, Hiranomachi 2-chome, Chuo-ku, Osaka-shi, Osaka 541-0046 Japan
11-6	国籍 (国名)	日本国 JP
11-7	住所 (国名)	日本国 JP
111-1	その他の出願人又は発明者	出願人及び発明者である (applicant and inventor)
111-1-1	この欄に記載した者は	米国のみ (US only)
111-1-2	右の指定国についての出願人である。	
111-1-4ja	氏名(姓名)	佐々木 健次
111-1-4en	Name (LAST, First)	SASAKI, Kenji
111-1-5ja	あて名:	103-8405 日本国 東京都 中央区日本橋本町二丁目 2番6号 三菱ウェルファーマ株式会社 東京オフィス内
111-1-5en	Address:	c/o MITSUBISHI PHARMA CORPORATION, Tokyo Office 2-6, Nihonbashi-honcho 2-chome, Chuo-ku, Tokyo 103-8405 Japan
111-1-6	国籍 (国名)	日本国 JP
111-1-7	住所 (国名)	日本国 JP



## 特許協力条約に基づく国際出願願書

03044W00

原本（出願用） - 印刷日時 2003年12月18日（18.12.2003）木曜日 16時21分21秒

111-2 111-2-1	その他の出願人又は発明者 この欄に記載した者は	出願人及び発明者である (applicant and inventor)
111-2-2	右の指定国についての出願人である。	米国のみ (US only)
111-2-4j a	氏名(姓名)	勝村 泰彦
111-2-4e n	Name (LAST, First)	KATSUMURA, Yasuhiko
111-2-5j a	あて名:	103-8405 日本国 東京都 中央区日本橋本町二丁目 2番6号 三菱ウェルファーマ株式会社 東京オフィス内
111-2-5e n	Address:	c/o MITSUBISHI PHARMA CORPORATION, Tokyo Office 2-6, Nihonbashi-honcho 2-chome, Chuo-ku, Tokyo 103-8405 Japan
111-2-6	国籍 (国名)	日本国 JP
111-2-7	住所 (国名)	日本国 JP
IV-1	代理人又は共通の代表者、通知のあて名 下記の者は国際機関において右記のごとく出願人のために行動する。	代理人 (agent)
IV-1-1ja	氏名(姓名)	高柳 昌生
IV-1-1en	Name (LAST, First)	TAKAYANAGI, Masau
IV-1-2ja	あて名:	103-8405 日本国 東京都 中央区 日本橋本町二丁目2番6号 三菱ウェルファーマ株式会社 知的財産部
IV-1-2en	Address:	MITSUBISHI PHARMA CORPORATION, Intellectual Property Department 2-6, Nihonbashi-honcho 2-chome, Chuo-ku, Tokyo 103-8405 Japan
IV-1-3	電話番号	03-3241-4808
IV-1-4	ファクシミリ番号	03-3241-6313
V	国の指定	
V-1	広域特許 (他の種類の保護又は取扱いを求める場合には括弧内に記載する。)	AP: GH GM KE LS MW MZ SD SL SZ TZ UG ZM ZW 及びハラレプロトコルと特許協力条約の締約国である他の国 EA: AM AZ BY KG KZ MD RU TJ TM 及びユーラシア特許条約と特許協力条約の締約国である他の国 EP: AT BE BG CH&LI CY CZ DE DK EE ES FI FR GB GR HU IE IT LU MC NL PT RO SE SI SK TR 及びヨーロッパ特許条約と特許協力条約の締約国である他の国 OA: BF BJ CF CG CI CM GA GN GQ GW ML MR NE SN TD TG 及びアフリカ知的所有権機構と特許協力条約の締約国である他の国

## 特許協力条約に基づく国際出願願書

03044W00

原本（出願用） - 印刷日時 2003年12月18日（18. 12. 2003）木曜日 16時21分21秒

V-2	国内特許 (他の種類の保護又は取扱いを 求める場合には括弧内に記載す る。)	AE AG AL AM AT AU AZ BA BB BG BR BY BZ CA CH&LI CN CO CR CU CZ DE DK DM DZ EC EE EG ES FI GB GD GE GH GM HR HU ID IL IN IS JP KE KG KP KR KZ LC LK LR LS LT LU LV MA MD MG MK MN MW MX MZ NI NO NZ OM PG PH PL PT RO RU SC SD SE SG SK SL SY TJ TM TN TR TT TZ UA UG US UZ VC VN YU ZA ZM ZW
V-5	指定の確認の宣言 出願人は、上記の指定に加えて 、規則4.9(b)の規定に基づき、 特許協力条約のもとで認められ る他の全ての国の指定を行う。 ただし、V-6欄に示した国の指 定を除く。出願人は、これらの 追加される指定が確認を条件と していること、並びに優先日から 15月が経過する前にその確認 がなされない指定は、この期間 の経過時に、出願人によって取 り下げられたものとみなされる ことを宣言する。	
V-6	指定の確認から除かれる国	なし (NONE)
VI-1	先の国内出願に基づく優先権 主張	
VI-1-1	出願日	2002年12月20日 (20. 12. 2002)
VI-1-2	出願番号	特願2002-370822
VI-1-3	国名	日本国 JP
VI-2	優先権証明書送付の請求 上記の先の出願のうち、右記の 番号のものについては、出願書 類の認証謄本を作成し国際事務 局へ送付することを、受理官庁 に対して請求している。	VI-1
VII-1	特定された国際調査機関 (ISA )	日本国特許庁 (ISA/JP)
VIII	申立て	申立て数
VIII-1	発明者の特定に関する申立て	-
VIII-2	出願し及び特許を与えられる国 際出願日における出願人の資格 に関する申立て	-
VIII-3	先の出願の優先権を主張する国 際出願日における出願人の資格 に関する申立て	-
VIII-4	発明者である旨の申立て (米国 を指定国とする場合)	-
VIII-5	不利にならない開示又は新規性 喪失の例外に関する申立て	-
IX	照合欄	用紙の枚数
IX-1	願書 (申立てを含む)	4
IX-2	明細書 (配列表を除く)	26
IX-3	請求の範囲	4
IX-4	要約	1
IX-5	図面	8
IX-7a	国際出願に含まれる用紙の枚数 (明細書の配列表を除く)	43
IX-6	明細書の配列表	2
IX-7	合計	45


添付された電子データ

EZABST00. TXT

## 特許協力条約に基づく国際出願願書

03044W00

原本（出願用） - 印刷日時 2003年12月18日（18.12.2003）木曜日 16時21分21秒

	添付書類	添付	添付された電子データ
IX-8	手数料計算用紙	✓	-
IX-9	個別の委任状の原本	✓	-
IX-16	コンピュータ読み取り可能なヌクレオチド又はアミノ酸配列表		
IX-16 (-ii)	規則13の3に基づき提出する国際調査のための写しを含む追加的写し	-	1 フレキシブルディスク
IX-16 (-iii)	国際調査のための写しの同一性、又は第IX欄に記載した配列表部分を含む写しの同一性についての陳述書を添付	✓	-
IX-17	PCT-EASYディスク	-	フレキシブルディスク
IX-18	その他	納付する手数料に相当する特許印紙を貼付した書面	-
IX-18	その他	国際事務局の口座への振込みを証明する書面	-
IX-18	その他	磁気ディスクの記録形式等の情報を記載した書面	-
IX-19	要約書とともに提示する図の番号		
IX-20	国際出願の使用言語名:	日本語	
X-1	提出者の記名押印		
X-1-1	氏名(姓名)	高柳 昌生	

## 受理官庁記入欄

10-1	国際出願として提出された書類の実際の受理の日	
10-2	図面:	
10-2-1	受理された	
10-2-2	不足図面がある	
10-3	国際出願として提出された書類を補完する書類又は図面であってその後期間内に提出されたものの実際の受理の日(訂正日)	
10-4	特許協力条約第11条(2)に基づく必要な補完の期間内の受理の日	
10-5	出願人により特定された国際調査機関	ISA/JP
10-6	調査手数料未払いにつき、国際調査機関に調査用写しを送付していない	

## 国際事務局記入欄

11-1	記録原本の受理の日	
------	-----------	--